

きゅうしゅう

NO.60



写真：10式戦車（提供：陸上自衛隊玖珠駐屯地広報）

目次 CONTENTS

1. 部隊紹介：陸上自衛隊 玖珠駐屯地
2. 自治体紹介：大分県 玖珠町
3. 業務紹介：調達部 事業監理課
4. インフォメーション：永年勤続者表彰式ほか



写真：96式多目的誘導弾システム（MPMS）
（提供：陸上自衛隊玖珠駐屯地広報）



防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレム



1. 部隊紹介



陸上自衛隊玖珠駐屯地



西部方面戦車隊長
兼ねて玖珠駐屯地司令
1等陸佐 服部 樹彦

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆様、西部方面戦車隊長を兼ねて玖珠駐屯地司令の服部1佐です。

玖珠駐屯地が所在する玖珠町は、大分県西部の天領・日田に隣接する人口約1万5千人の人情味豊かで風光明媚な地域であり、地元出身者で「日本のアンデルセン」と呼ばれた久留島武彦氏に由来して「童話の里、玖珠町」とも呼ばれています。

周辺には多数の温泉及び景勝地があり、心身共にリラックスできるとても良い町です。玖珠駐屯地の主要な部隊は、西部方面戦車隊、西部方面対舟艇対戦車隊、西部方面特科連隊第2大隊、水陸機動団戦闘上陸大隊第2戦闘上陸中隊及びこれらの部隊をサポートする後方支援隊並びに業務諸隊などが所在し、即応態勢を保持しつつ日夜訓練に励んでおります。玖珠駐屯地は「地域とともに」を掲げ、地域の皆様との関係を深化させつつ、全力で任務に邁進する所存でありますので、今後とも駐屯地に対するご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

駐屯地の沿革

- 昭和32年 第114特科大隊が長崎県針尾駐屯地から移駐
- 昭和41年 第114特科大隊が福岡県飯塚駐屯地へ移駐 第4戦車大隊、第4対戦車隊（後に第4対舟艇対戦車隊に改編）が湯布院駐屯地から移駐
- 昭和54年 第8戦車大隊が北熊駐屯地から移駐
- 平成25年 西部方面隊対舟艇対戦車隊への改編 第302対舟艇対戦車直接支援隊を新編 戦闘上陸大隊第2戦闘上陸中隊を新編
- 平成30年 西部方面戦車隊の新編
- 平成31年 西部方面特科連隊第2大隊部隊移動（久留米駐屯地から移駐）



昭和32年玖珠駐屯地へ移駐当時

駐屯地所在部隊（部隊マーク）

					
西部方面戦車隊	西部方面対舟艇対戦車隊	西部方面特科連隊第2大隊	水陸機動団戦闘上陸大隊第2戦闘上陸中隊	第8後方支援連隊第2整備大隊戦車直接支援中隊	第8後方支援連隊第2整備大隊第302対舟艇対戦車直接支援中隊
					
西部方面後方支援隊第101特科直接支援隊	水陸機動団後方支援大隊第2整備中隊戦闘上陸直接支援小隊第2整備班	玖珠駐屯地業務隊	第404会計隊玖珠派遣隊	第304基地通信中隊玖珠派遣隊	第134地区警務隊玖珠派遣隊

訓練状況



10式戦車の射撃



多目的誘導弾の射撃



155mm榴弾砲の射撃



水陸両用車による上陸

地域との連携



玖珠町童話祭支援



九重町ふるさと祭り支援



玖珠町機関庫祭り支援



玖珠祇園大祭支援



駐屯地安全祈願祭



空からサンタがやってくる支援



日田市防災訓練参加



玖珠町防災訓練参加

広報活動



ヘリ体験搭乗



戦車試乗

災害派遣



令和2年7月豪雨災害派遣



玖珠駐屯地のおすすめメニュー

玖珠駐屯地 名物料理

「九重パブリカハンバーグ」

～ 隊員さんのリクエストを実現したメニュー ～

PRポイント

玖珠駐屯地のお隣、九重町ではパブリカの栽培が盛んです。肉厚で火を通すとジューシーなパブリカと、隠し味に味噌を加えたハンバーグは相性抜群です。

栄養ポイント

パブリカに含まれるカロテンは油と一緒に摂取すると吸収率が高まり、動脈硬化の予防に役立ちます。ハンバーグにはひきわり大豆を入れてかさ増ししているためエネルギーを抑えることができます。

材料 1人分 (自衛隊員の分量です)

- パブリカ 100g (1/2個)
- あいびき肉 70g
- ひきわり大豆(水煮) 10g
- 塩こしょう 少々
- パン粉 10g
- 牛乳 小さじ1
- 卵 10g
- たまねぎ 30g
- マヨネーズ 小さじ1
- 味噌 小さじ1/2
- とろけるチーズ 1枚
- ケチャップまたはデミグラスソース お好みで

九重パブリカハンバーグレシピ



作り方

- 1 パン粉を牛乳でふやかしておく
- 2 あいびき肉～味噌までの具をこね、ハンバーグのタネを作る
- 3 縦1/2にカットしたパブリカのタネを詰める
- 4 200℃のオーブンで20分程度焼く
- 5 オーブンから取り出し、チーズをのせ、お好みでケチャップまたはデミグラスソースをかけてできあがり

★ハンバーグに味噌をつけているのでソースなしでもおいしく食べられます

玖珠駐屯地のいいところ

大分の西部に位置し、小さな町中にもありますが、特徴的な山々などの大自然、温泉、美味しい食べ物、隊員の優しさが待っている素敵な駐屯地です。是非遊びに来ちゃくれ。



玖珠駐屯地公式Twitter

2. 自治体紹介 (大分県玖珠町)



玖珠町長
宿利 政和

町長あいさつ

玖珠町は、大分県の西部に位置する風光明媚な山間の町です。旧森地区エリアには古くからの町並みがあり、関ヶ原合戦の後、瀬戸内海から移り住んだ村上水軍の一族が藩主となって屋敷を構えており、現在、藩主屋敷跡は国指定名勝「旧久留島氏庭園」という桜と紅葉の名所です。

藩主の子孫で「日本のアンデルセン」と呼ばれた郷土の偉人「久留島武彦」は「子ども達が育たなければ、日本の将来はない」と唱えており、本町では武彦氏の精神を受け継ぎ、「童話の里」をテーマにまちづくりを行っており、日本童話祭をはじめ多くの子どもたちのためにイベントを開催しています。また、武彦氏の残した童話などを映像、音声、人形劇など様々な工夫を凝らし、子どもから大人まで楽しめる遊び心満載の久留島武彦記念館は人気スポットとなっています。

そして、玖珠町のシンボル「伐株山」は童話に出てくるような切株の形をした非常に珍しい山です。頂上までは車で行くことができ、玖珠盆地を一望できます。秋から冬にかけては気象条件が揃えば雲海も見ることがもできます。

子どもも大人も楽しめる玖珠町に、ぜひ皆様お越しください。

自衛隊との関わり

玖珠町には、陸上自衛隊玖珠駐屯地と西日本最大の日出生台演習場が所在し、駐屯地には、九州唯一の戦車部隊である西部方面戦車隊をはじめ多くの部隊が駐屯しています。駐屯地と演習場を結ぶ通称「戦車道」は、戦車が通行する珍しい一般道として有名で、多くの方が訪れるスポットとなっています。

これからも、防災訓練や各種行事などを通じ自衛隊と住民の交流を深め、自衛隊との共存共栄を図って参ります。





童話の里 大分県玖珠町

玖珠町のおすすめ観光スポット・特産品をご紹介します！

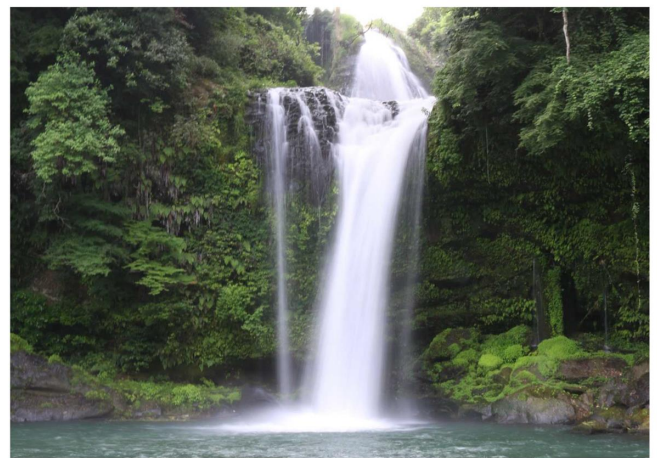


豊後森機関庫公園

旧豊後森機関庫は、国の登録有形文化財であり、九州で唯一現存する扇形機関庫です。併設された豊後森機関庫ミュージアムでは機関庫や鉄道の資料の展示、また、公園内ではミニトレイン運行が休日を中心に開催されており、子どもから大人まで楽しめます。

慈恩の滝は高さ約30mの2段落としの滝で、玖珠町と日田市の境に位置し、国道210号や久大本線から見るすることができます。すぐそばには「道の駅慈恩の滝くす」もあり、野菜など特産品やお土産、名物の豆乳ソフトが人気です。

慈恩の滝



玖珠米「ひとめぼれ」

きれいな水・盆地特有の昼夜の寒暖差・肥沃な土壌で育まれた美味しいお米です。皇室の大嘗祭の献上米に選ばれ、食味ランキングでも「特A」評価を獲得しているお米です。

おおいた豊後牛

きめ細かな脂の霜降りが特徴で、柔らかく甘くてまろやかな味が自慢のお肉です。

これまで「天皇賞」「内閣総理大臣賞」「農林水産大臣賞」等を受賞しました。



大吟醸「玄龜」

万年山の伏流水で丁寧に仕込まれた少量生産の貴重な大吟醸です。JR九州のクルーズトレイン「ななつ星in九州」に玖珠米「ひとめぼれ」とともに採用される逸品です。

観光情報は
こちらから！



玖珠町観光協会HP

ふるさと納税は
こちら！



ふるさとチョイスHP

移住定住サイト
はこちら！



くすまち移住定住サイト

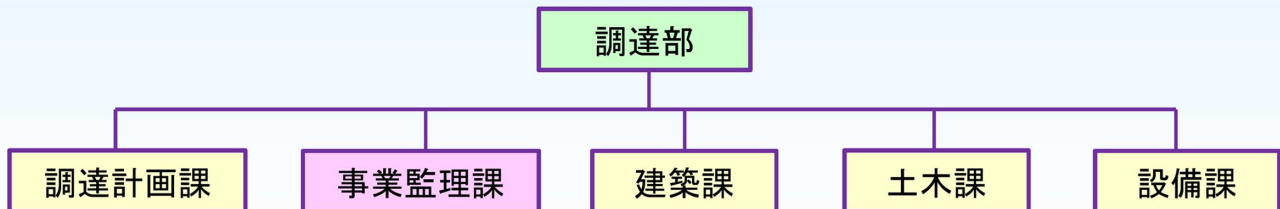
3. 業務紹介

事業監理課

■ 事業監理課の設置

九州防衛局調達部は、九州北部4県（福岡、佐賀、長崎、大分）に所在する自衛隊施設や在日米軍の運用に関わる特殊な施設（飛行場、港湾、通信所、訓練施設等）や隊員が使用する生活支援施設（隊舎、宿舎、食堂等）など、多種多様な「防衛施設」を部隊の要望に合わせて建設しています。

事業監理課は、これらの建設工事の設計／施工の促進に関する事務を、総合的かつ効率的に実施するための方針の策定及び調整に関する業務を行うことを目的として、平成30年12月に調達部に設置されました。



■ 事業監理課の業務

事業監理課が所掌する具体的な業務は、主に次の3項です。

PM事業の管理

令和4年度における5件のPM事業（建設プロジェクトマネジメント事業）について、レビュー会議等により設計及び工事の進捗状況や懸案事項／対策等を各課と調整。

【 PM事業の工程会議状況 】



建設工事等の検査

建設工事や調査・設計等業務の完成検査、既済部分検査及び中間技術検査について、検査日程等の調整や、実際に検査官として検査を行い、検査後の事務手続を実施。

【 完成検査の実施状況 】



施設保全情報の管理

施設完成後、技術各課から施設管理課に提出される国有財産目録等の提出状況や、施設情報（図面、構造計算等）の電子納品システム登録の事務手続を実施。

その他にも、検査官の発令等に係る庶務手続や災害時の「施設整備調査チーム」の運用・訓練に係る調達部内の連絡調整や備品の管理などを事業監理課で所掌しており、これらの取り組みによって、隊員等の生活・勤務環境を支えています。

4. インフォメーション

令和4年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式

令和4年10月18日(火)、米海軍佐世保基地内の「ハーバービュークラブ」において、令和4年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が行われました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を行いながら、ご来賓として長崎県をはじめ佐世保市、西海市を代表する方々、全駐労長崎地区本部執行委員長のご臨席を賜り、3年ぶりの開催となりました。

この表彰式は、佐世保地区に所在する在日米軍の各施設に永きにわたり勤務された146名の従業員に対し、その労をねぎらい、併せて労働意欲及び作業能率の向上を図ることを目的として、日米共催で実施されたものです。

表彰式は、日米両国の国家吹奏から始まり、主催者挨拶として伊藤哲也九州防衛局長から「従業員皆様方の御苦勞と御努力に対し、心から敬意を表し、皆様方の日々のご活躍が在日米軍の安定的な駐留や日々の活動に寄与し、日米安全保障体制を支えています。」と、また、デイビッド・アダムス米海軍佐世保基地司令官から「佐世保基地が評判の高い基地であるのは、皆様のお仕事が素晴らしいから。従業員の方々は、「チームCFAS」の中心的で核となる存在であり、皆様の勤勉さとプロ意識が数々の業績を成し遂げた。」との式辞がそれぞれ述べられました。

引き続き、勤続年数に応じ30年、20年、10年の各代表者に表彰状と記念品が授与され、最後に被表彰者を代表して、安全衛生部の林一也氏が、「私たちが、永きにわたり勤務出来たことは日米両国の関係者等のご協力によるものです。これからも困難を乗り越え、良好な日米関係を維持するため、一層努力する所存です。」との答辞を述べられ、式典は滞りなく終了しました。



▲伊藤哲也九州防衛局長の式辞



▲デイビッド・アダムス米海軍佐世保基地司令官の式辞



▲表彰状及び記念品の授与



▲被表彰者代表の答辞

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話：(092)483-8832 FAX：(092)472-1959

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、
休日は終日。

日米交流事業 来春4年ぶり開催 ～過去参加者の声～

九州防衛局では、日米の相互理解を深める取組として、在日米軍関係者と地域の住民の方々がスポーツ、文化などを通じて交流を行う「日米交流事業」を開催しています。
その中でも音楽交流は、これまで佐世保市において4回開催しており、来年3月には4年ぶりに開催予定です。開催に当たり、これまでの参加者の声をお聞きしました。



日米交流演奏会2019の様子 (①合同演奏②演奏会前日の合同練習③プレゼント交換)

過去参加者の体験談

アメリカの方と音楽を通して交流でき、佐世保に住んでいて良かったと感じた



澁谷 花さん (パート:フルート)

平成26年3月 中学2年生時に日米交流演奏会2014に参加
現在 平戸市立中野中学校 音楽常勤講師

日米音楽交流の思い出

私は人と話すことが苦手で、他校の生徒ともあまり話せませんでした。日米合同練習時、アメリカの生徒が積極的に話しかけてくれ、演奏会の場が明るくなったことを覚えています。アメリカの方と関わる機会はなかなかなかったので、音楽を通して交流できたことがとても嬉しく、佐世保に住んでいて良かったと感じました。

日米音楽交流に参加しての変化

参加する前の不安を忘れるほど、楽しい時間でした。私はこの経験から「やってみよう！」と何事も積極的にチャレンジをするようにしています。また、言葉はうまく話せずとも、音楽で心が繋がったように感じました。音楽は世界の共通言語というのはこういうことなのだろうと思います。その時「やっぱり音楽っていいよな」と思ったことが、音楽の教員を目指す一つのきっかけとなりました。

演奏者も観客も楽しめる演奏会



前川 希帆さん (パート:トランペット)

平成24年2月 高校2年生時に日米交流演奏会2013に参加
現在 九州文化学園高等学校 音楽教諭

日米音楽交流の思い出

私が高校生の時は、他の団体と交流する機会があまりなかったので、他校の同じ吹奏楽部員やアメリカの生徒と一緒に演奏できたこの演奏会はとても貴重な経験となりました。また、本番前や演奏後に同じ楽器の生徒と舞台袖で話せたことが今でも記憶に残っています。参加前は緊張していましたが、相手も自分達の演奏に良い反応をしてくれたし、相手の演奏を聴くことも楽しかったです。

日米音楽交流の魅力

卒業後も日米交流演奏会を見学させてもらっていますが、年々交流が深まっており、演奏のレベルも上がっていると感じます。様々な交流が行われるこの演奏会は、演奏者と観客が共に楽しんでいる姿が見られることが魅力だと思います。普段の部活動だけでは関われなかった人と交流できたり、音楽を続けるきっかけになったりと貴重な経験になると思うので、中高生にもぜひ参加してほしいです。

おらせ 日米交流演奏会2023



日時 令和5年3月16日(木) 18:00~20:30 (予定)

開催場所 アルカスSASEBO 大ホール

出演団体 (予定) 県立佐世保東翔高等学校、E.J.キングハイスクール、佐世保市内中学生バンド

詳細は、後日、九州防衛局HP等でお知らせします。